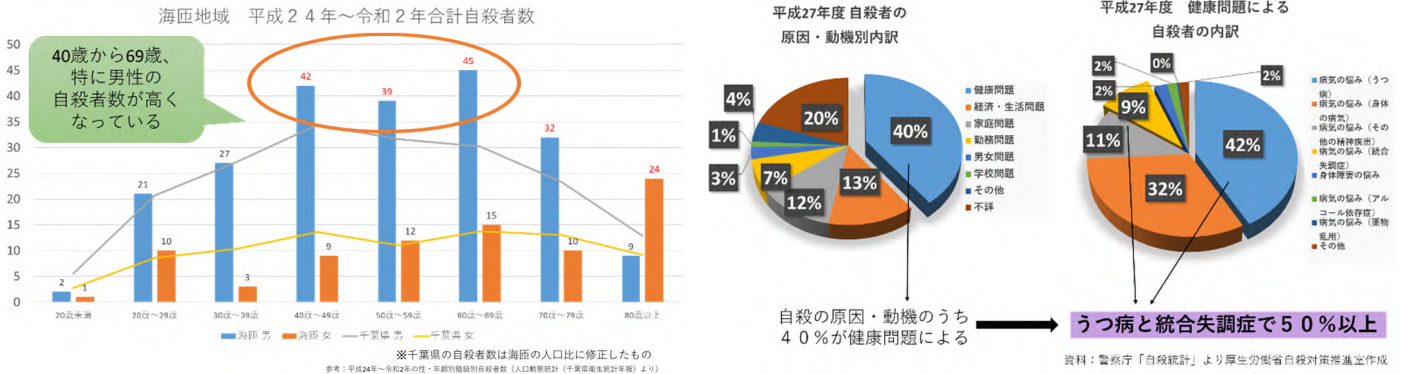


海匠地域・職域連携推進事業 職域におけるメンタルヘルス対策について

海匠地域は、千葉県と比較して、40代から60代の男性の自殺者が多く、また、警察庁の統計によると自殺の原因が、うつ病と統合失調症によるもので半分以上を示していることから、海匠地域・職域連携推進協議会では、平成30年度から「職域のうつ、ストレス対策の啓発強化」に取り組んでいます。



1 取り組み内容 (予定)

① 相談窓口の周知

「こころく(心・働・楽)健康通信 海匠!」を発行(年1回程度)し、メンタルヘルスに関する情報及び管内の相談窓口の案内を働く人に届けられるよう各委員、関係機関の協力を得て配布しています。

② 座談会の開催

令和5年度は、昨年度、企業担当者を対象に開催された「全国労働衛生週間説明会」に参加した際に実施したアンケート結果から、メンタル不調への対応で困っていると回答した事業所及びメンタルヘルス対策推進を必要と回答した事業所を対象に座談会を開催し、日ごろの悩みや対応方法について語り合う機会を設ける。

働き盛り世代のメンタルヘルス対策を推進するため、企業等においてメンタルヘルスによる悩みをもつ職員に適切な対応ができるよう「気づき」「寄りそう」スキルの獲得を目指し、関係(相談)機関に「つなげる」ことができるよう地域・職域の連携体制の構築に向け、企業間の情報共有・相談窓口の周知・対応方法の理解など地域と職域の連携強化につなげたい。

活動のポイント：
働く人だけでなく、企業の経営者、担当者へアプローチ